

オオトビモンシャチホコ

春にナラ類の葉を集団で食べる毛虫（幼虫）。最大長50mm。体は黄色または紅色で黒い斑紋がある。頭は黒。体毛は疎ら。ごくまれに多発する。



1. 幼虫. 1983/6.

【学名】 *Phalerodonta manleyi*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , シャチホコガ科 (Notodontidae)

【生態】

カシワ、クリ、コナラ、ミズナラなどナラ類に寄生する。

卵で越冬。卵は5月に孵化し、幼虫は5～6月に集団で葉を食べる。幼虫は刺激を与えると頭部を反らす習性がある。十分に成長した幼虫は地上に降り、落葉中や土の浅いところに潜って蛹になる。夏に蛾（成虫）になる。雌成虫は幹の樹皮や小枝の上の卵をかためて産む。

【被害と防除】

まれながら多発するが、たいてい1年で終わる。なお、集団が大きいため多発しなくても単木的に食害が目立つことがある。食害により木が枯れた記録はないので、森林では駆除は普通必要とされない。

庭木などで食害が気になるときは幼虫を取り除く。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

オオトビモンシャチホコ shachiho/ootobimo/
kaisetv.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/10/20.
yochu.jpg

「写真1」 鈴木重孝, 北海道立林業試験場, 1993.

